

# 履 歴 書

(記入年月日：2021年 9月 22日)

ふりがな	やまざき たつや
氏 名	山崎 竜弥

【学歴】※高等学校卒業以降について記入してください。

学校名等	在学期間 (年月)	卒業・修了 退学・在学等
富山県立福岡高等学校	2006年4月 ～ 2009年3月	卒業
明治大学商学部商学科	2009年4月 ～ 2013年3月	卒業
明治大学大学院商学研究科商学専攻博士前期課程	2013年4月 ～ 2016年3月	修了
明治大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程	2016年4月 ～ 現在に至る	在学中

【学位】※博士学位については、学位名の後に<課程・論文の別>及び「論文題名」を記入してください。

学位名 (修士・博士・専門職)	取得機関	取得年月日
修士 (商学)	明治大学	2016年3月26日

【職歴】※無職の期間及び明治大学における職歴 (TA等を含む) がある場合は必ず記入してください。

在職期間 (年月)	勤務先名・所属・職名及び資格等
2013年4月 ～ 2016年3月	明治大学商学部 ティーチング・アシスタント (TA)
2016年4月 ～ 2019年3月	明治大学商学部 リサーチ・アシスタント (RA)
2019年4月 ～ 2020年8月	明治大学商学部 専任助手
2020年4月 ～ 2021年3月	工学院大学 教育推進機構 基礎・教養科 非常勤講師
2021年9月 ～ 現在に至る	富山大学 経済学部 経営学科 専任講師

# 業 績 書

(記入年月日：2021年 9月 22日)

ふりがな	やまざき たつや
氏 名	山崎 竜弥

## 1 著書 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」, 著者等名, 発行所・出版社等, 全頁数, 最初と最後の頁
1	2021年5月	「情報倫理入門－ICT社会におけるウェルビーイングの探求－」 編者：村田潔, 折戸洋子 ミネルヴァ書房 pp. 1-288. pp. 140-160. 「第7章 ICTプロフェッショナルリズム」, pp. 207-209 「第10章 1, (2)AI時代における働くことの意味」

## 2 学術論文 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」, 著者等名, 掲載誌等・巻・号 (発行所・出版社等), 最初と最後の頁
【査読あり】		
1	2021年9月	“Exploring the Japanese Grey Digital Divide in the Pandemic Era”, Simon Rogerson, <u>Tatsuya Yamazaki</u> , Yohko Orito, Kiyoshi Murata, In Jorge Pelegrín Borondo, Mario Arias Oliva, Kiyoshi Murata and Ana María Lara Palma (eds.), <i>Moving Technology Ethics at the Forefront of Society, Organisations and Governments</i> (Logroño: Universidad de La Rioja, Spain), pp. 1-563. pp. 333-345. 『共同研究につき担当部分抽出不可』
2	2020年7月	“Post-Truth Society: The AI-driven Society Where No One Is Responsible”, <u>Tatsuya Yamazaki</u> , Kiyoshi Murata, Yohko Orito, Kazuyuki Shimizu, In Mario Arias Oliva, Jorge Pelegrín Borondo, Kiyoshi Murata and Ana María Lara Palma (eds.), <i>Societal Challenges in the Smart Society</i> (Logroño: Universidad de La Rioja, Spain), pp. 1-630. pp. 397-405. 『共同研究につき担当部分抽出不可』
3	2020年2月	「ICTプロフェッショナルリズムの現代的課題：責任不在の情報社会における個人と組織」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会誌第39巻4号 (日本情報経営学会), 37～51頁.
4	2020年2月	「自動技術による人間労働の代替の社会的受容性：働くことからの解放はよい社会を作るのか」, <u>山崎竜弥</u> , 商学研究論集第52号 (明治大学大学院), 1～16頁.
【査読なし】		
		なし

## 3 翻訳・書評・作品等 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	種 類	「タイトル」, 著者等名, 掲載誌等・巻・号 (発行所・出版社等), 最初と最後の頁
			なし

4 学会発表 ※ 新しい年月順（現在→過去）に必要事項を記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」, 発表者名, 発表学会, 開催地
1	2021年7月	“Exploring the Japanese Grey Digital Divide in the Pandemic Era”, Simon Rogerson, <u>Tatsuya Yamazaki</u> , Yohko Orito, Kiyoshi Murata (Presenter: Simon Rogerson), ETHICOMP 2021, Spain (Online)
2	2021年6月	「COVID-19に対するシニア世代の情報行動」, 折戸洋子・鈴木静・崔英靖・ <u>山崎竜弥</u> ・村田潔 (発表者: 折戸洋子), 日本情報経営学会第81回全国大会, 東京経済大学 (オンライン)
3	2020年6月	“Post-Truth Society: The AI-driven Society Where No One Is Responsible”, <u>Tatsuya Yamazaki</u> , Kiyoshi Murata, Yohko Orito, Kazuyuki Shimizu (Presenter: <u>Tatsuya Yamazaki</u> ), ETHICOM 2020, Spain (Online)
4	2019年11月	「非-責任社会」, <u>山崎竜弥</u> ・折戸洋子・村田潔 (発表者: <u>山崎竜弥</u> ), 日本情報経営学会第79回全国大会, 松山大学 (愛媛県)
5	2019年6月	「ICTプロフェッショナルに求められるもの: 改訂ACM綱領の批判的検討」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第78回全国大会, 静岡大学
6	2018年11月	「人間労働の存在しない社会: ユートピアかディストピアか」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第77回全国大会, 西南学院大学 (福岡県)
7	2018年6月	「ICTプロフェッショナリズムの現代的課題」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第76回全国大会, 北海道情報大学 (北海道)
8	2017年11月	「ネット企業における贈与型ビジネスモデルの二つのリスク」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第75回全国大会, 龍谷大学 (京都府)
9	2017年6月	「自動技術による人間労働の代替の社会的受容性: 働くことからの解放はよい社会を作るのか」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第74回全国大会, 東京理科大学 (東京都)
10	2016年10月	“Responsible Development and Usage of FLOSS”, <u>Tatsuya Yamazaki</u> , APCIM 2016: Asia Pacific Conference on Information Management 2016, Sheraton Hanoi Hotel, Hanoi, Vietnam
11	2016年5月	「ロボット・人工知能による人間労働の代替: 人間と技術の社会的に受容可能な共生のあり方」, <u>山崎竜弥</u> , 日本情報経営学会第72回全国大会, 東海大学 (神奈川県)

5 その他研究上の活動における特筆すべき事項 ※ 新しい年月順（現在→過去）に記入すること。

No.	概要
1	第36回電気通信普及財団賞受賞 (テレコム社会科学学生賞佳作), 授賞式: 2021年3月26日 (金), 於: 帝国ホテル東京, 受賞論文: 「ICTプロフェッショナリズムの現代的課題: 責任不在の情報社会における個人と組織」
2	日本情報経営学会第75回全国大会 大学院生研究発表奨励賞 (JIA, Junior Investigator Award), 授賞式: 2017年11月18日 (土), 於: 龍谷大学, 受賞題目: 「ネット企業における贈与型ビジネスモデルの二つのリスク」